

桜 歯 ニュース

2021. 4. 15
VOL.210



日本大学歯学部ホームページ： <https://www.dent.nihon-u.ac.jp/>



新入生の入学を歓迎いたします！

日本大学歯学部 学部長 本田 和也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはコロナ禍の大変厳しい中で受験をされ、本歯学部合格された新入生です。苦しい経験はきっと、これからの人生に役立つ事になります。今の時点では新型コロナウイルス感染症の収束状況の判断はできていません。君たちの学生生活のスタートも、講義は遠隔、実習が対面形式になります。歯科医師を目指す学生として、しっかりと自覚して感染しないよう行動してください。

さて、日本大学は、明治政府の初代司法大臣を務めた山田顕義伯爵を学祖とし、130年を超える伝統校であり、教育の理念を端的に表す言葉として「自主創造」を掲げています。自主創造とは、自ら考え、自ら学び、自ら新しい道を切り開いていくという意味です。

一方歯学部も、平成28年に100周年を迎えた伝統のある学部です。歯学部の教育理念は、前身となる東洋歯科医学校を創設した佐藤運雄博士が唱えた「医歯一元論」です。医歯一元論とは、歯学を口腔や歯だけにとどめず、全身と関連させて統合的に学ぶべきであるということであり、この建学の趣旨は歯学部の教育方針にしっかりと根付いています。皆さんは、これらの教育理念に基づいて常に高い志を持ち、何事にも自ら積極的に取り組む姿勢を示し、人間性豊かな人格を有する歯科医師を目指してください。

(教授 歯科放射線学講座)

新入生の皆さんへ

ご入学おめでとう ございます



学務担当 今村 佳樹

新入生の皆さん、日本大学歯学部にご入学、おめでとうございます。皆さんは、これまでの努力が報われて人生の夢を叶えるための道を歩みだしました。歯学部の卒業も歯科医師国家試験

の合格もそのマイルストーンにすぎませんが、そのマイルストーンを確実に越えなければ皆さんの夢を実現することはできません。日本大学歯学部は、皆さんが夢を実現できるように最大限のサポートを行います。コロナ禍にあって、従前の環境とは異なりますが、ご安心ください。日本大学歯学部では、在校生からも高い評価を得た遠隔授業システムで、皆さんをしっかりサポートしてゆきます。皆さんは初志を見失うことなく、夢に向かって一直線に邁進してください。

(教授 口腔診断学講座)

メリハリのある生活を！



学生担当 宮崎 真至

日本大学歯学部に入學したということで、これまでとは異なる生活が始まることになりました。今後どのようなことが起こるのかについて、明るい希望を

抱いているとともに、期待に胸を膨らせているものと想像しています。もちろん、輝ける未来は自分自身で獲得するものです。しかし、その過程において多くの仲間を作ることも大切となります。本学部での学びの時間において、多くの同級生と交わるとともに先輩、そして次年度以降には後輩との多様な交流を持つことを期待しています。そのような円滑な学生生活のために、本学部では皆さんを支援する様々なプログラムを用意しています。これらを有効に活用することで、有意義な学生生活を送ってください。

(教授 歯科保存学第I講座)

恵まれた環境での知識の習得

日本大学歯学部同窓会会長 小幡 純



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。立派な歯科医師をめざし入学したことでしょ

う。質の高さが求められる現在の医療においては確固たる知識と技量を取得する必要があります。昨年からの新型コロナウイルス感染症禍

で今までとは違う環境でした。しかし、このことは医学を目指す皆さんにとって今後の医療に役立つ特別な経験としてください。日本大学は総合大学です。他の歯科大学と異なり各学部との連携をとりながら様々な分野で知識を得ることも可能です。この恵まれた環境で知識の習得をしてください。皆さんは入学時から同窓会の準会員になります。同窓会は100年の歴史を持ち、約9000人の会員が日本歯科医師会を始め全国で活躍し、地域医療にも多大なる貢献をしています。そして同窓会は会員を生涯バックアップしていきます。

知のプロフェッショナル

後援会会長 横江 順



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これまでのご努力に敬意を表すとともに、愛情をもって支えてこられたご家族、関係する方々に心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんは、これから始まる本学での学びへの期待に胸

を膨らませていることでしょう。そのスタートにおいて、今般のコロナ禍は生活様式を大きく変貌させつつあり、それは、大学の修学環境でも例外ではありません。そのような状況下でも、率先して、人との出会いとコミュニケーションを大切に育むなかで、主題と出会うこともあるでしょう。特に、自分と異なるバックグラウンドや価値観を持つ人々と大学という場で積極的に交流することで、自分の中に眠っている力が引き出され、多様な環境に対応できる柔軟性が磨かれます。想像力と柔軟性に富み、本質的な問いを立てることの出来る「知のプロフェッショナル」としての素養を身につけてください。

新入生の皆さんへ

学生会会長 山 由起



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。初めての大学生活で、楽しみなこと不安なことたくさんあると思います。入学してからの6年間に経験することは、これから歯科医師になるにあたって、どれもと

ても貴重なものになると思います。是非たくさんのごことを学び、やりたいことには何でも積極的に取り組んでください。何か問題があれば、いつでも先生方や先輩を頼ってください。きっと親身になって相談に乗ってくださるはずですよ。少しでも快適な大学生活を送っていただけるように、学生会も全力でサポートしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。(第6学年)

新入生の皆さんへ

クラブ協議会会長 飯村 宗一郎



今年度は、コロナウイルスの影響からクラブ活動が禁止となり約1年間活動ができない日々が続いています。

また、オールデンタルが中止となり不完全燃焼のまま引退を余儀なくされた学生やせっかく

入学したのにクラブに入ることができず孤独な初年度を過ごした2年生もいるはずですよ。

クラブ協議会としても1日でも早い活動の再開と感染拡大防止に配慮した勧誘活動ができるように先生方や役員と協議を重ねています。

クラブ活動で得られる学年を越えた仲間との絆や思い出、目標に向かって一丸となる経験は大学生活でしか得られないものだと思います。

今は一人一人の責任を持った行動が打倒コロナへの近道です。共に乗り越えましょう。(第5学年)

事務局の紹介

【教務課】 入学時の学生証の発行から歯科医師国家試験受験に関する手続きまで、授業や試験などの勉学に関する事務手続きを扱っています。勉学上必要な事項は『学部要覧』や『授業計画(シラバス)』に記載してありますので、これらによく目を通してください。また、授業や試験に関する連絡は掲示やNU-Mailをもって行います。そのため、常にNU-Mail等を確認する習慣を身につけてください。

【学生課】 快適で充実した学生生活を送るために様々な支援を行っています。窓口では通学証明書及び学割の発行、忌引きや病気などによる欠席届や住所変更届などの諸届けの扱い、各種奨学金の手続きなどを行っています。また、クラス懇親会に対する助成手続、学生会やクラブ活動に関する相談や助言なども行っています。さらに、球技大会、桜歯祭、NU祭、日本大学体育大会、全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)などの学生行事にも携わっています。

【学生支援室】 皆さんが学生生活を過ごしていく上での様々な問題について、学生の立場に立って相談に応じています。「こんなことを相談するのは恥ずかしい」などと気がねせず、気軽に訪問してください。6年間の学生生活では、辛いこと、困ったこと、誰かに話を聞いて欲しいこと、様々なことがあると思います。他人にとっては些細に思えることでも、本人にとっては、とても大事なこともあります。相談員は、インテーカーの資格のある教員(月曜日昼休み)に加え、日本大学本部学生支援センターより、臨床心理士が配置されています(火～金曜日)。守秘義務のある専門家が、皆さんの立場になって話を聞きますのでプライバシーは厳守されます。他者に話をすることで、気持ちが整理されたり、新たな視点に気付くことがあるかもしれません。学生生活に何らかの困難を感じた時、選択肢の一つとしてください。

【保健室】 学生と教職員の皆さんの大学生活や職場において、心身共に健康で充実した時間が過ぎるよう、学校医兼産業医(月曜日午後)と看護師(平日、土曜不定期)が、健康の保持増進のための支援をしています。

学生の皆さんは、日頃より自身の体調や健康状態に関心を持ち、正しい医学的知識を習得して健康管理に心がけていただくと共に、生活の中で健康に関する悩みや相談が生じた場合には、いつでも保健室(3号館1階)に相談をしてください。

【図書館】 学習や臨床、研究に必要な図書や雑誌を取り揃え、貸出・返却の手続き、他機関からの資料の取り寄せ、調べ方の案内、PCの貸出など行います。図書館ホームページから電子ブック、電子ジャーナルや各種検索データベースを利用して幅広く学術情報を収集することができます。貸出状況・貸出履歴確認、購入リクエスト、メール質問等のオンラインサービスもご利用ください。分からないことは図書館員に気軽にお尋ねください。

クラス主任・担任メッセージ

第一学年

主任	山岡 大	教授	基礎自然科学分野(物理学)
担任	佐藤 紀子	准教授	健康科学分野
担任	渡辺 孝康	助教	基礎自然科学分野(化学)
担任	角田麻里子	助教	病理学講座
担任	西尾 健介	助教	歯科補綴学第I講座

山岡主任：新型コロナ感染症が終息する気配がないなかで、勝ち取った本学へのご入学おめでとうございます。これから皆さんにとって、感染症と闘いながら歯科医師になるための険しい道のりが始まります。また、将来の医療従事者としての範を示す行動も求められます。この状況に立ち向かって行けるように担任一同で皆さんをサポートしていきます。

佐藤担任：仲間に信頼される人間になろう！皆さんが有意義な学生生活を送るために、とても重要なことです。自分はどうな行動をとるべきなのか、しっかりと考える1年間にしてください。そして、コロナ禍の「今」しかできないことを見つけて、自分を成長させてください。

渡辺担任：ご入学おめでとうございます。第一学年では教養系科目を中心とした学修が始まります。誰も苦手な科目はあるかと思いますが、心を新たに腰を据えて取り組みましょう。焦らず積み重ねれば、着実に力が身につきます。充実した一年間になるようサポートします。

角田担任：新入生の皆さまご入学おめでとうございます。4月から始まる新しい生活ですが、皆さんどのような思いが胸にあるのでしょうか。1年生の内は不安なことばかり想像してしまうと思いますが、ぜひ充実した学生生活を送ってもらいたいです。よろしくお願いいたします。

西尾担任：ご入学おめでとうございます。コロナウイルスの影響で、はじめ



は思ったような大学生活が送れないかもしれません。しかし、これから本学で何をやっていきたいかを考えるには良い期間かもしれません。興味があることを見つけられるよう、皆様をサポートさせていただきます。

第二学年

主任	浅野 正岳	教授	病理学講座
担任	陸田 明智	准教授	歯科保存学第I講座
担任	三澤麻衣子	専任講師	医療人間科学分野
担任	中井久美子	助教	衛生学講座

浅野主任：本年度からクラス主任を務めます病理の浅野です。よろしくお願いいたします。第2学年では、基礎医学系科目で、人体の構造や機能について本格的に学習することとなります。ここで修得する知識は、国家試験やCBT受験において必要不可欠なものばかりです。余裕をもって試験を乗り切れるよう、気合を入れて学修してください。

陸田担任：2年生からは歯科医師として必要な学修が本格的に始まりますが、今年も実習以外はリモートで行われることが多くなると思います。コロナ禍での学修へのモチベーションを保つことは大変だと思いますが、決められたルールを守り、自覚をもって行動してください。

三澤担任：コロナ禍では、自身を律せられるかが問われるように思います。対面授業においては、感染予防に積極的に取り組んでください。遠隔授業においては、教員の目がなくても集中して取り組んでください。夢を実現するための行動を積み重ねれば、やりたいことが実現できると思います。一緒にがんばりましょう。

中井担任：第2学年では歯科医学に関わる授業や実習が始まり、歯科医師になるための土台を作る大切な学年となります。試験やレポートに追われ大変だと思いますが、時間を有効に使い有意義な1年にしてください。

第三学年

主任	武市 収	教授	歯科保存学第II講座
担任	大山 哲生	専任講師	歯科補綴学第II講座
担任	人見 涼露	助教	生理学講座
担任	尾崎 愛美	助教	衛生学講座

武市主任：これまで学んできた教養系・基礎系科目に加え、新たに歯科臨床に関する科目の履修がスタートします。歯を切削する実習では、歯科医師となるために歩んでいることを実感するでしょう。しかし、基礎的な知識の裏付けがあつてこそその歯科臨床です。今まで学んできた知識を忘れることなく、日々の学修に取り組むようにして下さい。

大山担任：進級おめでとう。コロナ禍の中、まずはよく頑張った自分を褒めましょう。そして3年生は、更に専門的な科目が増えます。単純な暗記のみに頼らず、意味を理解しつつ学修する習慣を付けることが大切です。学生生活を楽しみ、実り多き一年を過ごしてください。

人見担任：進級おめでとうございます。今年度より3年生の担当となりました。これまでより専門的な臨床系科目

が増えますので、歯科医師になるという自覚をもって一年間頑張っていきましょう。不安な毎日が続きますが、体調を崩さず有意義な一年間になるよう支援します。

尾崎担任：ご進級おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響により例年と異なる点が多く、戸惑うこともあるかもしれませんが、歯学部学生として感染対策を徹底し、勉学に励み、有意義な一年を過ごして下さい。担任としてサポートしていきます。

第四学年

主任	本吉 満	教 授	歯科矯正学講座
担任	田邊奈津子	准教授	生化学講座
担任	篠塚 啓二	助 教	口腔外科学第Ⅰ講座
担任	白土 博司	助 教	口腔外科学第Ⅱ講座

本吉主任：いよいよゴールに向かう道のりの折り返し地点に到達しました。年度末には大きな2つのハードル、CBTとOSCEが控えています。これらを制覇することで臨床の基礎を身につけることができます。授業の内容はより専門的になり、将来を見据えたシミュレーション実習も増えてきます。コロナ禍で大変と思いますが、皆さん、共に乗り越えていきましょう！

田邊担任：進級おめでとうございます。4年生はCBTとOSCEが控えています。今年は、自分の学習の仕方一人ひとり考え、向き合い、これらの準備を進めていってほしいです。また、今年1年みなさんが充実した学校生活が送れるよう、引き続きサポートしたいと思っています。

篠塚担任：今年度から皆さんの学年を担当することになりました。第4学年は臨床系科目の講義や実習が多く、歯科医師としての基礎的な知識の集大成です。私は昨年に引き続き第4学年を担当することになりましたので、その経験を活かし、皆さんをサポートしていきます。

白土担任：第4学年では臨床に即した実習・講義が中心となります。これまで身に付けてきた学修方法をさらに高めるべく、予習復習を大切に、共用試験（CBT、OSCE）受験に向けて励んで下さい。本年も皆さんが良き1年を過ごせるよう、サポート致します。

第五学年

主任	今井 健一	教 授	細菌学講座
担任	山崎 洋介	准教授	解剖学第Ⅱ講座
担任	伊藤 智加	専任講師	歯科補綴学第Ⅰ講座
担任	納村 泰弘	専任講師	歯科矯正学講座

今井主任：入学してから早4年が経過し5年生に。あっという間だったと思います。CBTとOSCEをクリアしいよいよ臨床実習が始まります。国家試験も迫りここからは甘えは許されません。自らをどう律するかだと思います。2年後どのようになっていたいですか？学生としてのゴールが見えつつあります。ここからは将来の自分の姿をしっかりとイメージして取り組んで下さい。

山崎担任：Festina lente（ゆっくり急げ）とは、よく言っ

たもので、これを聞いた誰もが人生の歩みやプロジェクトの進捗などについて思うところあるのでないか。勿論、5年生諸君もこの意味を心せよ。2年後のちょうど今頃の泣き笑いは、今からの行動にかかっている。

伊藤担任：第5学年の皆様、進級おめでとうございます。CBT・OSCEを乗り越え、いよいよ臨床実習の学年となります。臨床実習は院内において、実際の患者さんと直接対峙することになります。今までの4年間で培った机上の知識を臨床に活かし、さらには新しい知識を得て最終目標に向かう大切な学年です。再度、気を引き締めて、目標に向かって邁進してください。

納村担任：今年度クラス担任になりました。宜しく願い致します。いよいよ臨床実習のはじまる学年です。しかしながらまだコロナ禍の対応として、以前の5年生のような常に現場というわけにはいきません。視点を変えて、ピンチはチャンスとなる充実した一年を。

第六学年

主任	米山 隆之	教 授	歯科理工学講座
担任	澤田久仁彦	専任講師	歯科放射線学講座
担任	安田 裕康	助 教	歯科補綴学第Ⅱ講座
担任	関野 麗子	助 教	歯科麻酔学講座
担任	竹内 義真	助 教	総合歯科学分野

米山主任：いよいよ最終学年になりました。歯科医師になるための最後の関門に向けて、強い意志を持って学生生活を送りましょう。あっという間に1年は過ぎてしまいますので、初めから本気モード全開でスタートするとともに、着実なペースで計画的に日々の努力を積み重ねていってください。皆さんが来春を笑顔で迎えられるように。

澤田担任：ついに最終学年となりました。本年度は、歯科医師国家試験に向けて万全の準備を整えることを目標として、充実した1年を過ごして下さい。来春には歯科医師としてのスタートに立っていることをイメージして、悔いの残らないよう努力を惜しまないでください。

安田担任：新第6学年の皆さん、昨年度はコロナ禍において例年とは異なる1年間で大変でしたが、進級おめでとうございます。今年是最終学年でもあり、今まで学んできたことの集大成になる年です。勉学に集中できる1年になるように担任としてサポートします。

関野担任：第6学年の皆さん、進級おめでとうございます。いよいよ最終学年です。コロナ禍で異例の学生生活になってしまいましたが、皆さんの卒業・国家試験というゴールはもう目の前です。来年の春に全員が笑って卒業できるよう、有意義な1年となることを期待しています。

竹内担任：本年度からクラス担任を務めさせていただきます。歯科医師臨床研修の担当窓口です。施設のマッチングをはじめ統合試験や歯科医師国家試験など大変な1年になると思いますが、健康に留意し、悔いの残らない学生生活を送ってください。

特集「日本大学歯学部未来を聞く」

特集 「日本大学歯学部未来を聞く」

桜歯ニュース編集委員会

今日では歯科医療の在り方が、COVID-19感染対策から問われています。本誌では「With コロナの時代」の歯科医療のあり方を情報共有するため、前号から特集「日本大学歯学部未来を聞く」をシリーズで掲載しています。

前号では、本田和也学部長、今井健一教授にご執筆いただきました。本号では尾崎哲則教授と飯沼利光教授・生木俊輔専任講師に第3回、第4回をご担当いただきました。ご拝読いただければと存じます。

第3回 「COVID19は歯科医療機関の患者をどのように左右したか」

尾崎 哲則



2020年4月からの全国的なCOVID19の流行により、多くの医療機関での受療自粛が起きたとされている。ほぼ1年経過した中で、実際どのように経過したのか、辿ってみた。

コロナ禍の中で国民の意識については、日本私立歯科大学協会が2020年10月に公表した「全国の10～70代の男女1,000人に聞く・「歯科診療」および「歯科医師」に関する第5回意識調査」をみた。コロナ状況下で、「歯科受診・健診について、できれば控えたい」が61.7%であり、「歯科医院でコロナウイルスの感染がおこっていない」を知っていたのは26.2%で、このことが、受診を控える要因になっていたと考えられる。

国全体のデータは、厚生労働省から公表されているが、より保険の種別の現状が明確である東京都のデータを用い検討した。保険の種類を健康保険及び共済を「社保」とし、国民健康保険を「国保」、後期高齢者医療制度を「後期高齢」とした。表1・図1に2020年の歯科医療機関当りの保険種別のレセプト件数の前年比を示した。緊急事態宣言が発せられた

4月5月に「社保」・「後期高齢」は70%台、「国保」は60%台まで低下した。その後、6月に「社保」・「後期高齢」は前年比90%台までに戻ったが、「国保」は80%台にしか戻らなかった。7・8月になり「社保」・「後期高齢」は95%レベルまで復活したが、「国保」は約85%であった。一方、表2・図2に2020年の歯科医療機関当りの保険種別の点数の前年比を示した。4月5月に低下し、6月には「社保」・「後期高齢」は前年比100%台までに戻ったが、「国保」は90%台にしか戻らなかった。7・8月になり「社保」・「後期高齢」は100%を維持したが、「国保」は90%強であった。2020年4月に診療報酬改定があり、前年より数%上昇するのが通常であるが、この傾向は、「社保」・「後期高齢」にのみ反映したと思われる。

以上から、6月になり「歯科医院でCOVID19感染が起きていない」が知られるようになり、患者の受診控えが収まったと考えられる。しかし、「国保」だけが低下しているのは、東京都の「国保」は、農業等は少なく、自営業とその被用者が多い傾向にあり、この人たちの収入減等によるものとも考えられる。感染症の蔓延のみならず、社会経済状態からも医療を見ていく必要がある。

(教授 医療人間科学分野)

表1 保険種別歯科医療機関当り月別レセプト点数 前年度比(%)

令和2年 点数	前年対比%			
	社保	国保	後期高齢	都内合計
2月	110.4	95.1	112.3	106.4
3月	112.5	90	102.2	104.5
4月	80	70.5	80.5	77.4
5月	81.5	67.3	74.5	76.2
6月	100.2	90.5	100.2	97.5
7月	104.6	93	105.1	101.5
8月	106	92.3	102.4	101.7

表2 保険種別歯科医療機関当り月別レセプト件数 前年度比(%)

令和2年 件数	前年対比%			
	社保	国保	後期高齢	都内合計
2月	109.8	95.7	110.5	106
3月	110.2	87.6	98.9	102.3
4月	71.7	63.5	74.3	69.8
5月	73.4	63.5	72.8	70.5
6月	91.9	82.8	93	89.6
7月	96.2	85	96.4	93.2
8月	98.7	86.4	96.4	95.1

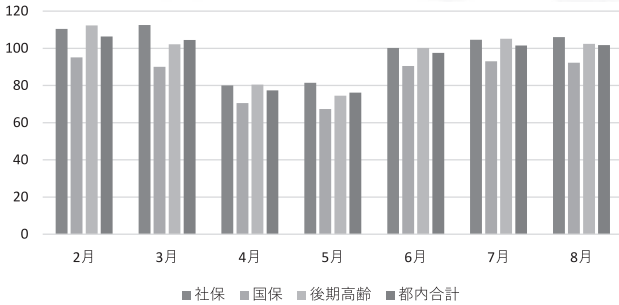


図1 保険種別歯科医療機関当り月別件数 前年度比(%)

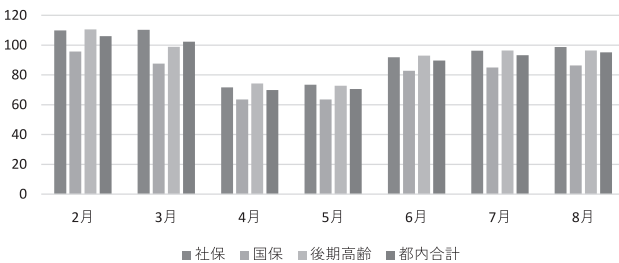


図2 保険種別医療機関当り月別件数 前年度比(%)

第4回

「日本大学歯学部附属歯科病院の近況報告」

—新型コロナ感染症への対策とその効果—

日本大学歯学部附属歯科病院長

飯沼 利光

口腔外科学第Ⅱ講座
(ICTリーダー)

生木 俊輔

新型コロナ感染症が全世界に蔓延し、人類に恐怖と悲しみをもたらした。既に1年の月日が過ぎました。この間、我が国では二回におよぶ緊急事態宣言が発出され、自分の、家族の、仲間の、さらに本院では患者さんの、そしてスタッフの命と健康を守るために様々な取り組みがなされています。直近では、ワクチン

接種の準備が整いつつありますが、この事態が急速に終息することは期待できないと考えています。学生の皆さんも多くの苦労や不安の中、我慢を強いら

れていることと思いますが、この間も病院スタッフは安心安全な環境で、学生の皆さんに歯科医師になるための充実した教育を教授できるよう、様々な取り組みをしています。そこで今回、ICT(感染対策チーム)リーダーである生木先生が東京都歯科医師会の会報で紹介した、本院のコロナ感染症への取り組みの一部を紹介したいと思います。

「日本大学歯学部附属歯科病院が行っている新型コロナウイルス感染症の対策」

1. 本院受診患者さんへのお願い

当院ではAI体温検知システムを採用しています。この検知システムは体温と合わせて、マスクの着用も自動で判断できます。さらに感染リスクを避けるため入館時、患者全員にこのAIによるチェックとアルコールによる手指消毒を行っています。

2. 受付・待合について

受付には感染予防としてビニールシートを設置し、飛沫感染の対策を行っています。待合では、いわゆる「3密」を避けるため、ソファは1人おきに座っていただいています。

3. 職員の健康チェックについて

本院に勤務する医療従事者をはじめとする職員に対しては、メディカルチェックを徹底して行い、その結果を日々記録簿に記載しています。

個人用防護具(PPE)は日本大学歯学部院内感染対策マニュアルに従い、手袋、ビニールエプロン、マスク、ゴーグル・フェイスシールドを使用し防護しており、エアロゾルが発生する処置では口腔外バキューム等の機器の使用に加え、フェイスシールド、帽子、エプロンの着用を必須としています(写真)。

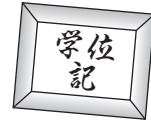
このように、感染予防のため病院全体が一つとなり水際対策を徹底して行っています。その効果は結果として十分に表れていますが、これからもなお一層気を引き締めて望んでいきます。新しくスチューデントデンティストとなる5年生の諸君には、このチームに加わる自覚としっかりとした知識を持つことを大いに期待しています。



診療時における感染予防



91名に学士(歯学)の学位記を伝達



3月25日、本学部本館創設百周年記念講堂において、学位記伝達が行われました。本田歯学部長から学位記が伝達され、併せて学長賞、優等賞、学部長賞等の授与が行われました。同日、大学院歯学研究科修了者32名にも本学部本館第3会議室にて、博士(歯学)の学位記が伝達されました。



青木良太さんに学長賞

日本大学は各学部において、在学中の学業成績が最も優れていた者に学長賞を授与しています。本年度の受賞の栄誉に輝いたのは青木良太さんでした。

青木良太：このような賞を頂き、大変光栄に存じます。6年間ご指導ご鞭撻賜りました先生方、支えてくださった全ての方々に厚く御礼申し上げます。統合試験の導入、新病院での臨床実習、遠隔授業の開始など目まぐるしい変化の中での学生生活でしたが、充実した日々を過ごすことができました。今後も我々を取り巻く環境は変化していくかもしれませんが、柔軟に対応できるよう研鑽を積んで参ります。



も改めて感謝の気持ちでいっぱいです。今後も周囲への感謝の気持ちを忘れず、日本大学での学びと思い出を胸に、新たな一步を踏み出したいと思います。ありがとうございました。

長崎美緒乃：この度はこのような素晴らしい賞を頂き、大変光栄に思います。充実した6年間を送ることができ、優等賞を頂いたのは先生方、友人、家族、様々な方の支えがあったからこそであり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。今後はより一層の研鑽を積み、お世話になった方々に少しでも恩返しができるように日々精進して参ります。この度は誠にありがとうございました。



令和2年度卒業生3名に優等賞

学業成績が学長賞に準ずる者に授与されるのが優等賞です。本年度は北野晃平さん、永井佐和子さん、長崎美緒乃さんの3名が受賞されました。

北野晃平：この度はこのような素晴らしい賞をいただき大変うれしく思います。思えばこの6年、どんな歯科医師になりたいか自問自答の日々でした。学べば学ぶほど興味は尽きず、そんな私の要望に対して様々な機会を与えてくださった多くの先生方や友人、そして両親に心より感謝申し上げます。

ここからが本当のスタートだと思います。これからも賞の名に恥じぬよう、日々研鑽を積んで参ります。

永井佐和子：この度は優等賞を頂き、大変嬉しく光栄に思います。このような素晴らしい賞を頂いたのは、5年間熱心に指導して下さった先生方のおかげです。また、大学生活を共に過ごした友人や先輩後輩、支えてくれた家族に



学部長賞を11名が受賞

優等賞に準じた功績を修めた者に授与される部科校長賞には、学業部門、学術・文化部門、体育部門、善行部門、その他があります。本年度は、学業部門：吉田浩子さん、中原莉沙さん、我喜屋佑さん、黒沼英之さん、山本明日香さん、体育部門・その他：新井聡美さん、稲永翔伍さん、桐戸美佳さん、佐藤壮将さん、吉田貴政さん、吉田浩子さんの11名が受賞されました。



歯学部同窓会会長賞を7名が受賞

人物優秀で、学業・体育などの部門で優秀な成績を修め本学部の名誉を高揚した者、ならびに学生生活活動の推進に著しく貢献し、本学部の発展に功績が認められた者に授与される同窓会会長賞を、浅見里菜さん、井上将一さん、木植(旧姓・大江)留奈さん、清水誠基さん、鈴木秀祐さん、永井佐和子さん、根本一平さんの7名が受賞されました。



吉田浩子



中原莉沙



我喜屋佑



黒沼英之



山本明日香



新井聡美



稲永翔伍



桐戸美佳



佐藤壮将



吉田貴政



浅見里菜



井上将一



木植(旧姓・大江)留奈



清水誠基



鈴木秀祐



永井佐和子



根本一平

卒業に際して

令和2年度卒業生代表 新井 聡美

6年間、振り返るとあっという間でした。毎朝地獄のような千代田線のラッシュの波にのまれ、試験、実習、部活動に追われる日々。試練の連続ではありませんでしたが卒業を迎え、ようやく歯科医師人生のスタートラインに立つことを許されたような気がします。これも偏に教職員の皆様、そして何より保護者の温かい支援のおかげです。深く感謝いたします。元号も平成から令和に変わり、希望に満ちた時代となることを切に願っていた矢先、最終学年にして勉強の場、交歓の機会が失われたことは貴重な学生生活の中においては非常に残酷なものでした。社会情

勢、生活様式など異例づくめの年でしたが、見えな
い敵と戦う恐怖に打ち勝ち、幾多の困難を乗り越え
た同朋に深く尊敬の念を抱くとともに、今後とも良
き歯科医師となるべく日々研鑽していく所存であり
ます。



令和3年度 歯学部予算の概要

経理長 樋口 肇

令和3年度歯学部予算が、3月開催の理事会で承認されました。予算計上した特徴的な事業計画及び収支状況は以下のとおりです。

1 予算計上した特徴的な事業計画

新校舎新築工事（講義室、実習室、図書館、共用ラボを効果的に配置し、教育・研究環境を向上する）	《継続事業》
新たな奨学金基金を創設し奨学金給付制度の充実	《継続事業》
オスロ大学との学術協定の締結	《継続事業》
「教育の質保証」の検証・向上にむけた内部保証委員会の設置	《新規事業》

2 歯学部総合予算（事業活動）の収支状況

令和3年度 歯学部総合予算	
事業活動収入合計	68億3,500万円
事業活動支出合計	70億8,600万円
基本金組入額合計	△16億4,700万円
当年度収支差額	△18億9,800万円

前年度予算と比較すると、収入の部では、学生生徒等納付金が1,200万円程の増収が見込まれますが、補助金収入が5,200万円の減収を見込まれ、事業活動収入は5,700万円の減収になりました。支出の部では、新校舎の完成や機器備品等の購入により減価償却額が1億5,200万円程増加し1億4,500万円程の支出増となっております。また、基本金組入前当年度収支差額は2億5,000万円の支出超過、基本金組入後（将来の資産取得額控除後）は18億9,800万円の支出超過となりました。

昨年からの新型コロナウイルスの影響により、医療収入の減収やコロナ感染防止対策費等の予想外の支出が発生していることに加え、本年度は新校舎の竣工を迎えます。それに伴う移転費や什器等の購入を予定しており、一層厳しい財政状況が続きます。

予算の執行に当たっては、その重要度や緊急度を再度検証のうえ効率的・効果的に執行するようお願いいたします。



「犬がいた季節」

著者：伊吹有喜
装画：金子 恵

山本 安希子



私がこの本を手にしたのは、画家の金子恵さんが気になっていたからでした。閉店の音楽が流れる書店でこの本を手にした時、価格を見て一旦は元に戻しましたが、手ぶらで店を出る気にもなれず、レジへ向かいました。駅に着くと早速読み始めたのですが…。

表紙の絵で分かってはいましたが、やはり中身は得意でない青春モノ。お金を払ったことを後悔しました。しかし、そこには、相手を心から思うが故、自分の気持ちを告げることをせずに卒業を迎えてしまうような、そんな優しく純粋な、大人と子供の間隙にいる高校3年生の彼等の物語が、第三者である犬の視点を織り交ぜながら描かれています。その情景はとても鮮やかで、あの頃のきらきらした時間がそのまま写真のように切り取られていて、忘れてしまっていたあの時代の感覚を急激に思い出し、時々本を閉じてほっと溜息をついてしまいました。

私はといえば、お堅い女子校育ちで、残念ながら冒険や切ない恋の物語なんて皆無です。それどころか、駿台予備校の前を通ると思い出すのは、センター試験で大失敗をして試験会場の隅で大泣きした苦い思い出です。結局周囲の意見に流されて受験校を決めてしまい、自分で選択をしなかったあの時の自分を随分後まで責めました。

忘れ物を取りに行くと言って、主人公の一人は仕事を辞め自分の夢と対峙します。私もその後軌道修正を重ねながら歩んできて、少しずつあの時の自分を受け入れられるようになりました。本の最後には大人になった彼等が描かれています。今自分がいる場所から高3の自分がいた場所を見てみると、結構見晴らしの良い所まで登ってきたことに勇気づけられるのではないのでしょうか。

「もっと自分が大人だったら…」と思った出来事、みなさんにもありますか？ （助教 病理学講座）

令和2年度 第1回FD講習会

—日本大学歯学部におけるICT教育—

FD委員会副委員長 小泉 寛恭

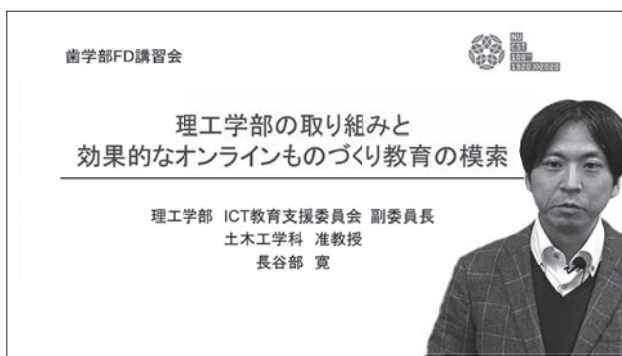
ファカルティデベロップメント (FD) とは、教員の授業内容や方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称であります。歯学部の大半の教員は、歯学教育を受けておりますので、医歯学の知識には長けております。一方で、その知識を教え、医療人を育てるといった方法論に関しては、系統的に学ぶ機会が少ない現状があります。歯学部のFD活動は、教員への教育方法論等を指導・サポートし、教育の質の向上を目指す取り組みを行っています。

令和2年度は、皆様ご存知のようにコロナ感染症の影響により、歯学部学生教育の現場も未曾有の対応を迫られました。大半の授業が、オンラインを使用して行わなければならない現状に直面いたしました。

今回の歯学部FD講習会は、急務であるオンライン授業の教育の質の向上を目途として、総合大学である日本大学のスケールメリットを生かし、日本大学理工学部から、インターネットによる教育支援にかかわっておられる長谷部 寛准教授を講師にお迎えしました。コロナ禍の理工学部における教育支援について『理工学部の取り組みと効果的なオンラインものづくり教育の模索』というテーマで講習会を開催いたしました。講習会の開催形式は、Youtubeでの限定公開とし、視聴対象教職員にURLを配信いたしました。

講習会後のアンケートでは、8割以上の教員が良かったと回答しております。今回学んだオンラインによる教育手法は、当然、理工学部と歯学部で教育内容は異なりますが、同じ日本大学教育憲章の下、実験・実習系授業の存在など、カリキュラムには共通する点が多々あります。理工学部のインターネット教育支援の実例をもとに、歯学部として、また個人レベルでのインターネットによる教育力の改善を図るための端緒を得たと思えます。

(准教授 歯科理工学講座)



CHAmmitに参加して

大塚 正志

昨年度はCOVID-19の影響で遠隔での講義が始まり、生活や学習スタイルが大幅に変わり、困難なことも多い年になりました。このような中、私は今年の11月に開催されたCHAmmitに学生スタッフとして関わりました。CHAmmitとはChat (おしゃべり)とSummit(首脳会議)を合わせた造語であり、講義や大学の在り方について、教員と学生が自由に意見を出し合い、大学の「学び」をより良くしていくためのイベントです。教務課からスタッフ募集のメールをいただき、参加することにしました。講義の在り方が大幅に変更されたため、このイベントは非常に大切なものになるのではないかと考えたのが理由です。実際に参加して、非常にためになる議論を聞いたことが一番の収穫でした。他の多くの学部でも遠隔授業が中心となり、学生や教職員がシステムの問題等で苦勞していることが分かりました。そして、このイベントの開催や準備を通して、時間管理の大切さを学びました。こうしたら、もっと良い講義になるのではないかと現状への疑問とそれに対するアイデアを持っていて、誰かに話してみたいという人がいるのではないのでしょうか。是非とも、このイベントに、スタッフか一般参加者として、一度は関わってみることをお勧めします。(第2学年)

清水 一帆

私がCHAmmitに参加しようと思った理由は、コロナウイルスの影響から他学部の学生や教員とのコミュニケーションが十分に取れていないと感じたためです。初めての参加で、授業改善に関わることの面白さを感じることが出来ました。特にオンライン授業については、出席の取り方や機械のトラブルへの対処といった課題がまだまだ多くあります。学生側と教員側の意見を共有できるということは貴重な機会であり、自ら考え主張することの大切さを実感しました。(第2学年)

吉本 寛

コロナ禍の中で入学した私達は1年もの間、慣れないオンライン授業を自宅のパソコンで受け続けるという無機質な生活を送ることになりました。私達は、教員や他の同級生とのコミュニケーションも不十分であり、行き場のないネガティブな感情を抱えていました。CHAmmitで同じ境遇にある日大生と話すことで、良い気分転換になりました。また、同じ歯学部の同級生とは特に仲良くなれました。数時間程度の短い時間でしたが、コロナ禍でのコミュニケーションとして、とても充実した経験が出来たと思えます。(第2学年)

本年度の授業について

学務委員会

◆対面および遠隔による授業を実施

新型コロナウイルス感染症対策のため、対面授業に加え遠隔授業を併用しながら授業を行います。対面授業は実習を中心に十分な感染対策を行なったうえで実施します。実習室・講義室内での密を避けるために学年を半分に分け、収容人数の1/2以下で行います。必ずマスクおよびフェイスシールドを着用し受講してください。また遠隔授業はZoomにより実施します。授業は録画されていますので、復習等に活用してください。日本大学では、オンライン授業に関するシンポジウムを定期的に開催し、また歯学部としても効果的なオンライン授業を行うためのFD活動を実施するなど、学生によりよい教育を提供できるよう教員もスキルアップに励んでいます。学生諸君は、疑問点を残さぬよう、オフィスアワーや教員へのメールなどを活用し、教員へ積極的に質問してください。また、同一曜日であっても、対面授業日と遠隔授業日に変則的な場合がありますので、シラバス等でよく確認したうえで受講してください。

◆大学登校時の注意点

「日本大学健康観察システム」に午前と午後の体温等を毎日必ず入力することが義務付けられています。体温が未入力の場合は、大学への入構および各種試験の受験が認められませんので留意してください。大学への登校時は、サーモグラフィによる検温を受け入構し、各所に設置された消毒用アルコールで適宜手指消毒を行ってください。また、休憩時間などの際は3密（密閉・密集・密接）を避け、特に昼食時の感染対策を徹底してください。

◆再試験の実施中止

これまで教科の成績が59点以下の場合、再試験が実施されていましたが、本年度は再試験を実施しません（統合試験を除く）。平常試験などによる授業内評価の重みが増しましたので、計画性をもって学修してください。なお、平常試験、定期試験、および統合試験は、原則対面での実施を予定しています。

対面授業では、多くの学生が集まります。学内での感染を避けるためにも、学内だけでなく日常生活でも感染対策を徹底し、特に感染リスクの高い会食は厳に慎んでください。

歯学系診療参加型臨床実習後 客観的臨床能力試験について

臨床実習運営協議会 黒川 弘康

5年生で行われる診療参加型臨床実習では、学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担することで、歯科医師として必要な基本的な知識・思考法・技能・態度を修得することを目的としており、地域社会や患者さんの協力を得ながら、多くのことを学ばせてもらいます。したがって、診療参加型臨床実習を行なった学生が、「歯学部を卒業させてよいと判断できる態度や技能を修得できているか」、「卒業後の臨床研修をスムーズに開始できる臨床能力を修得しているか」を測り、協力いただいた多くの患者さんに対して、歯科医師としての資質を備えていることを証明する必要があります。このような背景のもと、すべての歯科大学・歯学部が参加して、全国標準化された方法で行われる共用試験が、歯学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC PX：Post Clinical Clerkship-Performance eXamination）です。すなわち、Post-CC PXは、学生が歯科医師に求められる基本的な態度、治療技術を身につけていることを確認するために行われる試験です。

Post-CC PXでは、「臨床実地試験」と「一斉技能試験」の2つの試験がパッケージとして行われます。臨床実地試験では、臨床現場における学生の態度を、すべての診療行為に共通する6つの基本評価項目で評価するもので、①治療に際して患者に配慮できるか、②治療に必要な器材を確実に準備できるか、③必要時に指導教員に報告できるか、④処置中に器材を正しく取り扱うことができるか、⑤当該疾患に対して必要な処置とその内容を説明できるか、⑥行った治療について正しく自己評価できるか、⑦医療安全・感染対策に配慮することができるか、を確認します。一方、一斉技能試験では、診療参加型臨床実習を通じて学生が修得した基本的な治療技術（歯石除去、う蝕除去、根管形成、支台歯形成）を、歯科疾患を再現した模型を用いて、全国統一の基準によって包括的に評価します。

令和3年度に実施される、第5学年でのPost-CC PXは、「臨床実地試験」は、令和3年8月から2月の期間で、「一斉技能試験」は、令和4年1月27日（木）に実施する予定です。なお、「臨床実地試験」および「一斉技能試験」の合格が臨床歯科学Ⅱ（臨床実習）の修了要件の一部となります。

（准教授 歯科保存学第Ⅰ講座）

令和3年度 第1回 歯学部進学相談会

- オンライン形式による進学相談会を実施します。
※実施内容、申込方法等は歯学部ホームページでお知らせします（5月下旬予定）。
※定員制で実施する予定です。
※実施方法等は変更する場合がありますので、歯学部ホームページをご確認ください。
- Webオープンキャンパス
歯学部ホームページで、歯学部紹介や模擬授業の動画、バーチャル校内見学を配信しています。

第1回 歯科技工専門学校 進学相談会

日時：6月20日（日） 10時00分～13時00分
場所：日本大学歯学部1号館4階（専門学校講堂）
概要

- 個別相談：本学専任教員が各種相談を承ります。
- 校内見学：随時
- 体験実習：技工操作の一部として金属の研磨体験ができます。（随時）

※体験実習への参加は受験生のみとなります。

令和3年度 第1回 歯学部公開講座

令和3年6月上旬を予定しています。
詳しくは日本大学歯学部ホームページでお知らせします。

URL: <https://www.dent.nihon-u.ac.jp/>



NewsPlus α

☆【令和3年度ポスト・ドクトラル・フェロー、リサーチ・アシスタント、ティーチングアシスタントが決定】

PD…梶原 美絵・今井亜理紗

RA…嶋谷 祐輔

TA…小笹 佳奈・杉村 留奈・高橋 奈央・村上 尚希
横江 将・小助川聖史・高野 了己・中村 健志
廣瀬 健佑・清水なつ生・嘉悦 峻・小林 達朗
遠山由理香・朝山 雄之・相馬 千紘・西村 調
若松 賢吾・森山 鮎子・大熊理沙子・庄司 元音

学 事

令和3年度上村安男・治子研究費 給付者一覧

（所属・資格は 令和3年3月31日現在）

生理学講座	准 教 授	林 良憲
生化学講座	准 教 授	津田 啓方
細菌学講座	教 授	今井 健一

令和3年度日本大学歯学部 佐藤研究費（研究）給付者

（所属・資格は 令和3年3月31日現在）

（口腔科学系）

解剖学第Ⅰ講座	准 教 授	二宮 禎
解剖学第Ⅱ講座	助 手	湯口 眞紀
生理学講座	教 授	篠田 雅路
生化学講座	准 教 授	津田 啓方
病理学講座	助 教	福井 怜
細菌学講座	准 教 授	田村 宗明
薬理学講座	助 教	山本 清文
歯科理工学講座	准 教 授	小泉 寛恭
衛生学講座	助 教	中井久美子
法医学講座	准 教 授	近藤 真啓
口腔診断学講座	准 教 授	野間 昇
歯科保存学第Ⅰ講座	教 授	宮崎 真至
歯科保存学第Ⅱ講座	助 教	安川 拓也
歯科保存学第Ⅲ講座	助 教	間中総一郎
歯科補綴学第Ⅰ講座	助 教	西尾 健介
歯科補綴学第Ⅱ講座	助 教	秋田 大輔
歯科補綴学第Ⅲ講座	准 教 授	小峰 太
歯科矯正学講座	教 授	本吉 満
小児歯科学講座	教 授	白川 哲夫
歯科放射線学講座	助 教	雨宮 俊彦
歯科麻酔学講座	助 教	里見ひとみ
摂食機能療法学講座	准 教 授	阿部 仁子
口腔外科学第Ⅰ講座	助 教	篠塚 啓二
口腔外科学第Ⅱ講座	助 教	古川 明彦

（人間科学系）

医療人間科学分野 専任講師 三澤 麻衣子

（基礎科学系）

基礎自然科学分野（生物学） 教 授 藤田 智史
基礎自然科学分野（化学） 助 教 渡辺 孝康

課程博士 (令和3年3月25日付)

顔面皮膚のC線維刺激により活性化する延髄ニューロンの歯髄炎による興奮性増強 浅香 淳一

Recombinant mouse allograft inflammatory factor-1の生物学的活性 篠崎 泰久

Effects of LPS and high concentrations of glucose on zoledronate-induced RANKL/OPG expression and PGE2 production in osteoblasts (骨芽細胞におけるゾレドロン酸誘導性RANKL/OPG発現とPGE2産生に及ぼすLPSと高濃度グルコースの影響) 長崎 真希

Analysis of functional-RNA network starting from exosomal microRNAs in oral squamous cell carcinoma cells (口腔扁平上皮癌細胞におけるエクソソーム由来マイクロRNAを起点とした機能性RNAネットワークの解析) 正岡 直

上下顎前方移動および舌骨上筋群牽引術前後における数値流体力学解析を用いた上気道呼吸動態の変化 山縣 加夏子

Oxytocin attenuates orofacial mechanical allodynia following infraorbital nerve injury (オキシトシンは眼窩下神経損傷による口腔顔面領域の神経障害性疼痛を軽減する) 安藤 正敏

かかりつけ歯科の有無が入院患者の退院時における食生活に及ぼす影響 立松 明紗子

デュアルキア型覆髄剤におけるデンティブリッジ形成能およびosteocalcin産生誘導能 西原 安那

下顎枝矢状分割術前後の舌骨の位置変化と嚥下動態の関係について 前川 紀雄

Porphyromonas gingivalis gingipains induce MUC5AC production in respiratory epithelial cells and in mouse lung (*Porphyromonas gingivalis*のジンジパインは呼吸器上皮細胞とマウス肺においてMUC5ACの産生を誘導する) 宮 千尋

大気汚染素プラズマ刺激はosterix, osteocalcinとALP発現増加およびiNOSとCOX-2発現低下によって骨芽細胞の分化を促進する 佐藤 諒一

propiece IL-1 α の核局在様式 武元 智子

Propofol decreases spike firing frequency with an increase in cortical spike synchronization and a modulation in spike regularity (プロポフォールは大脳皮質においてニューロン発火同期性の増強および規則性の変化を伴い発火頻度を減少させる) 梶原 美絵

Propiece IL-1 α の細胞内の局在と細胞障害による細胞外放出 佐々木 秀人

ユニバーサルアドヒーズの塗布時間の変更がエナメル質接着性および表面性状に及ぼす影響 名倉 侑子

Effect of active application of universal adhesives with different etching modes on dentin bond durability after thermal cycling (異なるエッチングモードでのユニバーサルアドヒーズのアクティブ処理が象牙質接着耐久性に及ぼす影響) 森竹 宣之

Influence of different etching modes on dentin bonding effectiveness of universal adhesives (異なるエッチングモードがユニバーサルアドヒーズの象牙質接着性に及ぼす影響) 山内 嘉文

Macrophage-mediated Toll-like receptor 4-interleukin-1R signaling via p38 phosphorylation contributes to the ectopic tongue pain following tooth pulp inflammation (歯髄炎に起因する舌痛覚過敏発症に対するp38のリン酸化を介した三叉神経節内TLR4-IL-1Rシグナル伝達へのマクロファージの関与) 菅野 浩平

Evaluation of novel root canal obturation techniques using prototype endodontic obturators with a resin-based sealer in various powder-to-liquid ratios (試作根管充填用コンデンサーを用いた粉液比の異なるレジン系シーラーによる新規根管充填法の検討) 高附 亜希子

老化による口腔粘膜切開痛感受性変化に対する延髄ミクログリア性質変化の役割 生田目 大介

脳虚血において脾臓に発現するHMGB-1陽性細胞はミノサイクリン投与により減少する 深澤 麻衣

フッ化水素カリウムおよびフッ化水素アンモニウムによる表面処理がジルコニアの陶材焼付強度に及ぼす影響 久津間 亮平

炎症性サイトカインが脂肪細胞の血管新生因子とタンパク分解関連因子の発現に及ぼす影響 柴田 知佳

繰り返しエッジオーバーサンプリング法による水中条件での小照射野歯科用コーンビームCTにおける空間分解能の評価 伊藤 源大

In vitro transcription/translation法により作製したmature interleukin-1 α とpropiece interleukin-1 α の機能比較 高田 礼央

Involvement of medullary microglial activation in facial skin incision-induced mechanical allodynia following neonatal facial injury (新生児期顔面部損傷後における顔面皮膚切開誘発機械アロディニアに対する延髄ミクログリア活性化の関与) 松井 智行

Substance P-induced activation of presynaptic NK1 receptors suppresses EPSCs via nitric oxide synthesis in the rat insular cortex (サブスタンスPによるシナプス前NK1受容体の活性化はラット島皮質における一酸化窒素合成を介してEPSCを抑制する) 松村 幸恵

C1q-mediated astrocytic activation is required for infraorbital nerve injury-induced orofacial neuropathic pain (C1qを介したアストロサイトの活性化は眼窩下神経損傷による口腔顔面領域の神経障害性疼痛に関与する) 浅野 早哉香

口腔灼熱痛症候群患者の安静時脳活動における情動の影響 高根沢 大樹

Examination of factors involved in predicting the prognosis of oral intake recovery for inpatients with aspiration pneumonia by videoendoscopic evaluation (嚥下内視鏡検査を用いた誤嚥性肺炎患者における経口摂取の可否を予測する因子の検討) 木村 将典

終末糖化産物は骨芽細胞の骨形成を低下させ、ERK1/2のリン酸化を抑制する 酒井 真悠

一口嚥下と咀嚼嚥下における嚥下時の筋活動 長島 有毅